



麦巻き作りに挑戦！

女性部藤里支部(藤原京子支部長)は食農教育活動の一環として、9月21日に藤里小学校の家庭クラブに所属している5、6年生7人を対象に、能代の郷土菓子として知られる麦巻き作りに取り組みました。

支部長のほか2人の女性部員が作り方の手本を見せ、さっそく麦巻き作りに挑戦。この日は、ほうれん草や人参、カボチャの3種類の麦巻きを作りました。児童たちはホットプレートで卵焼きのように巻いたりし、楽しく麦巻き作りを行いました。児童か



←女性部員と楽しく麦巻き作り

→丁寧に巻く作業をする児童



らは「カボチャの麦巻きが1番おいしかった」や「他の野菜の麦巻きも食べてみたい」といった感想が聞かれました。また、藤原支部長は「野菜嫌いの子どものみでもこれならおいしく食べることができると思う。麦巻き作りで地域の食文化に理解を深めることができたのではないか」と話してくれました。



全県フレッシュ交流会

8月24日に秋田県J Aビルで全県フレッシュ交流会が開催されました。この交流会は、将来のJ A女性組織を担うフレッシュ部員が、研修や交流を通じて組織に対する意識を高め、仲間づくりと情報交換を活発に行い、活動のさらなる活性化につなげることを目的としています。

「咲き誇れ！フレッシュ活動“わたしの一步”」の作文発表会では、当J Aたんぼほ会の淡路千穂子さんが代表として発表しました。「なんぼになってもフレッシュでいたい」と題した発表では、地元小学校への野菜提供や

農作業体験の実施といったたんぼほ会の食育事業活動、フラワーアレンジメントや能代支部との合同研修旅行などの活動を紹介し、新たな仲間との交流の喜びを話しました。

今後について淡路さんは「今までの活動を継続して行いつつ、親の世代、孫の世代を視野に入れた行事を企画しています。高齢者を対象とした介護・ケアの勉強会や、病気に負けない体づくりの講習会などを取り入れ、今まで以上に地域との交流を密にしていきたいです。また、次世代に活動を繋げていくためにも、子育てに取り組むママ世代に食の安全性や農業の大切さをアピールしていきたい」と話してくれました。



←作文を発表する淡路さん